

十勝管内、交通死亡事故ゼロ122日 最長記録更新中

2015/02/19 9:52

十勝管内で交通死亡事故がない日が続いている。昨年10月を最後に、約4カ月間、死亡事故は発生していない。十勝総合振興局によると、現時点で確認が取れる1989年以降では最長という。道警をはじめ関係者の各種取り組みが一定の効果を上げたことが要因の一つとみられるが、さらなる記録更新に向け関係者は気を引き締めている。

- ・市街地、交差点付近の凍結路面で追突、衝突
- ・慣れにより、路面のすべりやすさを忘れてスリップ
- ・交差点付近は、雪山で見通しも悪くなり、出会い頭の衝突や歩行者との事故が多く発生

荷台からの転落、手足の挟まれ事故に注意！

バック時は 降りて確認 乗っても確認

2時間ごとに、15分休憩！

追突、玉突き事故を防ぐ 交差点手前で止まる時は、車1台分のスペースを空けて止まる

交差点 「右左確認／よ～し！」

自分は、事故を起こすはずがない？ 事故に遭うはずがない？

“ぼんやり”は、事故のもと、緊張感をもって！

ユニックを下げ忘れ 架線接触、一時停電

2015/02/19

19日午前9時25分ごろ、愛知県で大型のユニック車がユニックを上げたまま踏切に入り、架線に接触した。この事故で停電が起き、約1時間半、運行を見合わせた。警察は、運転していた産業廃棄物処理会社の男性社員(49)から経緯を聴いている。同署によると、架線の高さは約5メートル。男性社員は近くで廃棄物を回収し、処理場まで運ぶ途中だった。作業後にユニックを下げ忘れたとみられる。

右折の大型ダンプと直進の市営バスが衝突

2015年2月19日(木)13時7分

19日午前8時ごろ、川崎市で「バスと大型ダンプカーがぶつかった」と、バスの乗客の男性から110番通報がありました。バスには50人ほどが乗っていましたが、そのうち30代から60代の男女4人が軽いけがをした。警察によりますと、右折していた大型ダンプと反対車線を直進していた路線バスが衝突したということです。

ローラーに挟まれ、作業員死亡

2015年2月19日(木)12時20分

19日午前4時20分ごろ、姫路市の製鉄所内の工場で、男性作業員(41)が、鉄板を運ぶローラー(直径約1.2m、約3.5トン)に全身を挟まれ、死亡しているのを同僚の作業員が見つけた。警察によると、当時4人一組で、鉄板を加工する作業をしており、男性は「ローラーに傷が付いている」と言って、様子を見に行ったという。

鉄塔から転落 作業員1人死亡

[2015/2/18 18:21]

18日午前9時過ぎ、神戸市にあるロープウェーの鉄塔でケーブルの取り換えをしていた男性作業員が20m下の地上に転落、死亡した。また、一緒に作業をしていた別の男性作業員も親指を切断する重傷。警察は、男性がケーブルを巻く機械に指を巻き込まれた同僚を助けようとして、誤って転落した可能性があるとして、原因を詳しく調べている。